

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2016年第13週  
(3月28日～4月3日)

\* 2016年4月6日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成28(2016)年4月7日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2016年13週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		10週	11週	12週	13週	年累計	13週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	67	85	50	57	847	359	5,386
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>*3</sup>								
三類	コレラ							
	細菌性赤痢	1	2			10	2	37
	腸管出血性大腸菌感染症	3			1	17	7	152
	腸チフス			2		7		11
	パラチフス					2		3
四類	E型肝炎	3				14	8	106
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	4	4	2	5	23	8	97
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 <sup>*4</sup>							4
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*5</sup>						2	5
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱				1	2	1	2
つつが虫病						1	38	
デング熱	1		1	6	21	12	88	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

\*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		10週	11週	12週	13週	年累計	13週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							3
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1		1	3	1	8
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1	5		2	25	12	258
レプトスピラ症							3	
ロッキー山紅斑熱								
2016/4/6集計								

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

〈二類感染症〉

**結核 57件** 肺結核 28件、その他の結核 7件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 20件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 2件、10代 2件、20代 2件、30代 11件、40代 9件、50代 3件、60代 11件、70代 7件、80代 7件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 56件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 1件** 無症状病原体保有者、血清型・毒素型はO128 VT1、年齢は40代、推定感染地はアルゼンチン又はアラブ首長国連邦、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

**A型肝炎 5件** 患者 5件、年齢は30代 2件、60代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、カンボジア又はベトナム又はエジプト 1件、中国 1件、国内又は南アフリカ又は韓国 1件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 1件であった。

**チクングニア熱 1件** 患者、年齢は40代、推定感染地はインドであった。

**デング熱 6件** 患者 6件、病型はデング熱 6件、血清型は3型 1件、4型 1件、不明 4件、年齢は10代 1件、20代 3件、30代 1件、70代 1件、推定感染地はフィリピン 4件、インドネシア 1件、ベトナム 1件であった。

**マラリア 1件** 患者、病型は熱帯熱、年齢は20代、推定感染地はコンゴ民主共和国であった。

**レジオネラ症 2件** 病型は肺炎型 2件、年齢は60代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染(温泉) 1件、不明 1件であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2016年13週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		10週	11週	12週	13週	年累計	13週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	5	5	8	4	57	10	292
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1			2	14	3	56
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	2	1	2	49	14	328
	急性脳炎 *1	2	1	1	2	45	11	295
	クリプトスポリジウム症						1	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			6	1	48
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			4	1	23	6	142
	後天性免疫不全症候群	14	9	8	10	119	13	345
	ジアルジア症	1	1		1	5	4	17
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	1	2	12	8	90
	侵襲性髄膜炎菌感染症							15
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	9	7	9	108	49	801
	水痘(入院例に限る)			1	3	12	4	59
	先天性風しん症候群							
	梅毒	47	21	20	36	397	55	883
	播種性クリプトコックス症	2	1	1		6	3	30
	破傷風						2	17
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						2	11
風しん		1			4		22	
麻しん				1	1	1	5	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						1	10	

2016/4/6集計

\*1 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 4件** 病型は腸管3件、腸管外1件、年齢は50代3件、60代1件、推定感染地は国内4件、推定感染経路は経口感染1件、不明3件であった。

**ウイルス性肝炎 2件** B型1件、C型1件、年齢は40代2件、推定感染地は国内1件、台湾1件、推定感染経路は性的接触2件(同性間1件、性別不明1件)であった。C型は、第13週報告の無症候梅毒と同一人物であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件** 患者2件、病原菌はエンテロバクター・クロアカ2件、年齢は60代1件、70代1件、推定感染地は国内2件、推定感染経路は医療器具関連感染(腹腔内ドレーン)1件、以前からの保菌1件、90日以内の海外渡航歴は無し2件であった。

**急性脳炎 2件** 病原体は水痘・帯状疱疹ウイルス1件、病原体不明1件、年齢は10歳未満1件、70代1件、推定感染地は国内2件、推定感染経路は不明2件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清型はA群、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。患者は死亡が確認された。

**後天性免疫不全症候群 10件** AIDS4件、無症候キャリア5件、その他1件、AIDS患者の年齢は30代3件、50代1件、無症候キャリア及びその他の年齢は10代1件、20代2件、30代1件、40代2件、推定感染地は国内5件、イタリア1件、中国1件、不明3件、推定感染経路は性的接触8件(同性間7件、異性間1件)、不明2件であった。AIDSのうち1件は、第13週報告の無症候梅毒と同一人物であった。

**ジアルジア症 1件** 年齢は20代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染又は水系感染であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件** 血清型は検査未実施2件、年齢は70代2件、推定感染地は国内2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染1件、不明1件、ヒブワクチン接種歴は無し1件、不明1件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 9件** 血清型は検査未実施9件、年齢は10歳未満1件、40代1件、50代1件、60代1件、70代2件、80代2件、90歳以上1件、推定感染地は国内8件、国内又は国外(渡航先不明)1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染3件、接触感染1件、不明5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は7価3回接種済み1件、無し6件、不明2件であった。

**水痘(入院例) 3件** 臨床診断例3件、年齢は10代1件、40代2件、推定感染地は国内2件、ニュージーランド1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染1件、不明2件、水痘ワクチン接種歴は無し1件、不明2件であった。

**梅毒 36件** 早期顕症梅毒Ⅰ期10件、早期顕症梅毒Ⅱ期12件、無症候梅毒14件、年齢は10代2件、20代9件、30代12件、40代9件、50代3件、60代1件、推定感染地は国内32件、台湾1件、国内又は国外(渡航先不明)3件、推定感染経路は性的接触33件(同性間11件、異性間16件、性別不明5件、両性間1件)、不明3件であった。無症候梅毒のうち1件は第13週報告のウイルス性肝炎(C型)と同一人物であり、もう1件は第13週報告の後天性免疫不全症候群(AIDS)と同一人物であった。

**麻しん 1件** 検査診断例(遺伝子型H1)、年齢は30代、推定感染地はモンゴル、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、麻しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2016年13週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		10週	11週	12週	13週		
小児科	RSウイルス感染症	25 0.10	25 0.10	25 0.10	13 0.05	260	264
	咽頭結膜熱	45 0.17	47 0.18	31 0.12	34 0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	751 2.88	767 2.96	589 2.26	506 1.95		
	感染性胃腸炎	1,694 6.49	1,591 6.14	1,303 4.99	1,329 5.11		
	水痘	80 0.31	70 0.27	86 0.33	92 0.35		
	手足口病	6 0.02	5 0.02	18 0.07	6 0.02		
	伝染性紅斑	48 0.18	45 0.17	35 0.13	29 0.11		
	突発性発しん	125 0.48	124 0.48	91 0.35	107 0.41		
	百日咳	4 0.02	1 0.00		5 0.02		
	ヘルパンギーナ	4 0.02	5 0.02	4 0.02	1 0.00		
	流行性耳下腺炎	127 0.49	121 0.47	111 0.43	112 0.43		
	川崎病 *1	3 0.01	4 0.02	1 0.00	3 0.01		
	不明発しん症 *1	11 0.04	15 0.06	5 0.02	15 0.06		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	8,065 <b>19.43</b>	6,138 <b>14.86</b>	3,860 <b>9.30</b>		
眼科	急性出血性結膜炎		1 0.03	2 0.05		39	39
	流行性角結膜炎	17 0.44	15 0.38	14 0.36	14 0.36		
基幹	細菌性髄膜炎 *3			1 0.04	1 0.04	25	25
	無菌性髄膜炎		2 0.08				
	マイコプラズマ肺炎	10 0.40	13 0.52	5 0.20	10 0.40		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	3 0.12	1 0.04				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	4 0.16	6 0.24	5 0.20	1 0.04		
	インフルエンザ入院	31 1.24	33 1.32	22 0.88	8 0.32		
2016/4/6集計							

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は減少し、流行警報基準を下回った。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年13週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	1	1		11	2						
6～11か月	4	5		76	3		1	34	1		
1歳	4	8	21	159	3	2	3	59		1	2
2歳	4	5	26	154	5		5	9			
3歳		2	56	128	9	1	2	4			4
4歳		5	77	123	15	1	7				16
5歳			56	104	13		2				19
6歳		3	56	92	14		5				23
7歳			45	58	10		1				14
8歳			37	53	2		3				11
9歳			23	38	3						9
10～14歳		1	58	113	11	2		1			12
15～19歳			8	33					2		
20～29歳		4	43	187	2				2		2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	13	34	506	1,329	92	6	29	107	5	1	112
先週比	-12	3	-83	26	6	-12	-6	16	5	-3	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1	7								
6～11か月		3	31								
1歳	1	6	115		1			1		1	
2歳		2	135								
3歳			153					2			
4歳	1		174					1			
5歳	1	1	214			1		1			
6歳		1	184								
7歳			202		1			1			
8歳			155					3			1
9歳		1	138					1			
10～14歳			422		1						
15～19歳			135								
20～29歳			159		3						1
30～39歳			232		1						
40～49歳			296		3						
50～59歳			174		2						
60～69歳			93		2						1
70～79歳			55								4
80歳以上			13								1
合計	3	15	3,087		14	1		10		1	8
先週比	2	10	-773	-2				5		-4	-14

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2016年13週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.67		0.67						0.33
中央区	0.33		1.00	6.33	0.33		0.33				
みなと	0.17	0.50	1.33	4.50	1.17			0.33			0.17
新宿区		0.25	1.88	3.00				0.13			0.13
文京		0.25	1.25	3.75	0.25			0.50			0.25
台東			1.25	4.25			1.00	0.75			
墨田区			0.80	2.60	0.40			0.20			0.20
江東区	0.11	0.11	1.22	11.11			0.22	0.44			0.67
品川区	0.13		1.50	5.00	0.25			0.25			0.75
目黒区	0.25		3.75	7.25	0.25			0.50			
大田区	0.08	0.62	2.77	5.23	0.38		0.31	0.23			0.31
世田谷		0.13	2.63	5.69	0.25		0.06	0.38			
渋谷区			0.75	5.00							
中野区			3.17	9.67				0.83			
杉並		0.20	1.50	3.10	0.30		0.20	0.20			
池袋			0.25	3.00							0.25
北区	0.14	0.14	0.43	3.14		0.14		0.43			0.29
荒川区		0.50	3.00	3.50	0.25			1.00			0.50
板橋区			1.20	1.60	0.90			1.10			0.40
練馬区		0.15	1.77	5.92	0.46			0.54			0.23
足立	0.08	0.08	2.54	4.62	0.23		0.08	0.69			0.62
葛飾区			2.63	5.13	0.13		0.38		0.13		1.13
江戸川		0.42	2.92	5.25	0.33		0.33	0.50			
八王子市	0.27	0.27	2.18	7.91	0.36	0.09	0.09	0.45			1.27
町田市		0.13	4.00	7.38	0.88	0.25					0.25
西多摩			0.38	4.63	0.13			0.25			0.25
南多摩	0.11		1.44	5.56	0.78		0.11	0.22	0.11	0.11	
多摩立川			2.00	4.43	0.14			0.36			0.14
多摩府中			0.85	5.90	0.55	0.05	0.10	0.70	0.15		1.15
多摩小平	0.07		3.00	3.93	0.53	0.07	0.20	0.40			1.27
島しょ			9.00								
東京都	0.05	0.13	1.95	5.11	0.35	0.02	0.11	0.41	0.02	0.00	0.43

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			5.50			0.50		0.50			
中央区			9.20								
みなと		0.17	6.44								1.00
新宿区			4.67								
文京			6.43		3.00						1.00
台東			4.86								
墨田区			4.88								1.00
江東区			8.79								
品川区			2.42								
目黒区			4.71								
大田区		0.15	6.50		0.50						
世田谷		0.31	7.88					0.50			
渋谷区			4.43								1.00
中野区			8.40								
杉並	0.20	0.10	6.13								
池袋			5.43								
北区			6.73		1.00						
荒川区			16.43								
板橋区		0.20	3.13		1.00						1.00
練馬区	0.08		5.67								
足立			7.90		1.00						
葛飾区			8.00		1.00			5.00		1.00	1.00
江戸川			5.68		0.50						
八王子市			13.39					1.00			
町田市		0.13	10.69								
西多摩			7.00								
南多摩			7.14								
多摩立川		0.07	6.76								
多摩府中		0.05	9.97		0.67			0.67			0.33
多摩小平		0.07	10.91		0.50						0.50
島しょ			3.00								
東京都	0.01	0.06	7.46		0.36	0.04		0.40		0.04	0.32



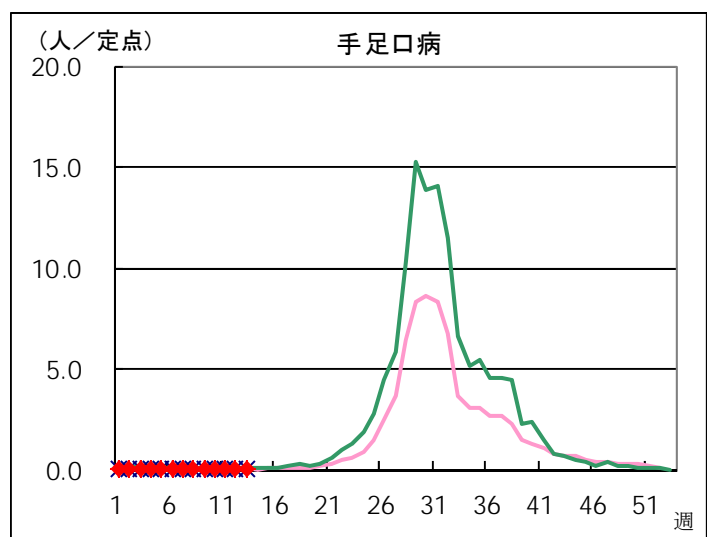
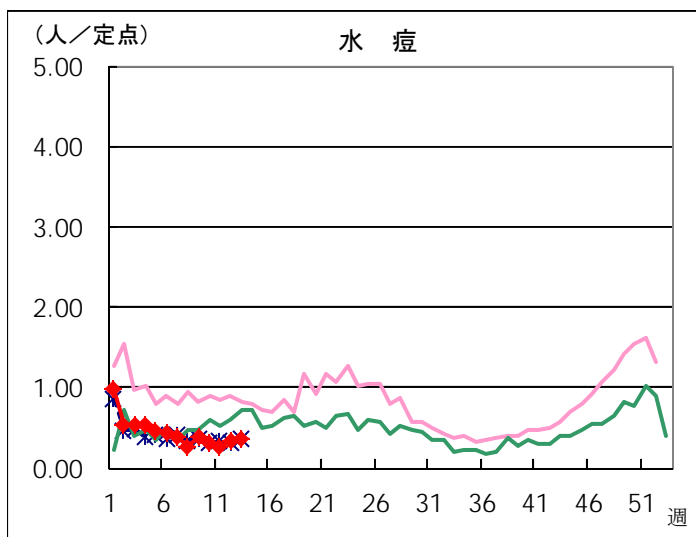
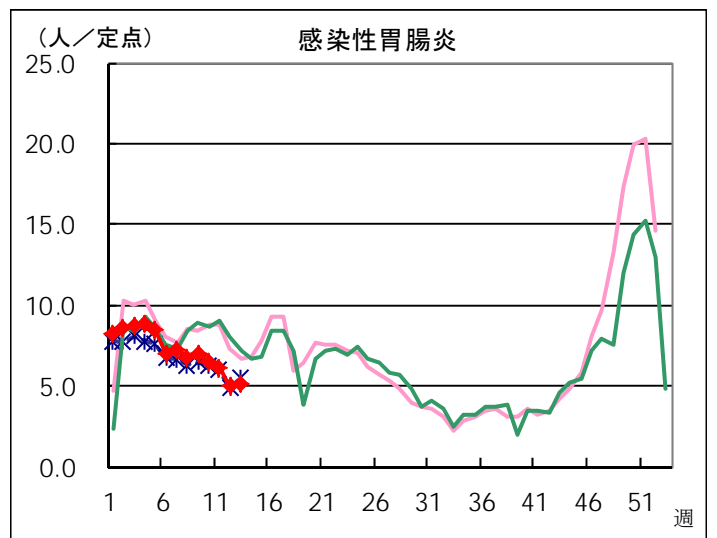
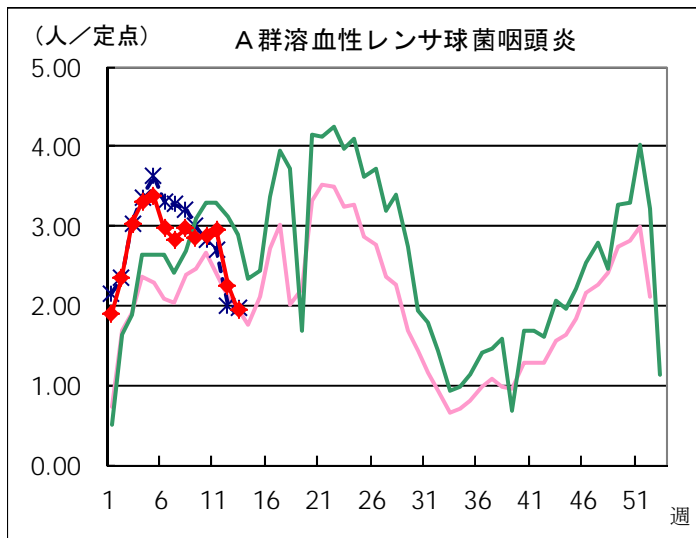
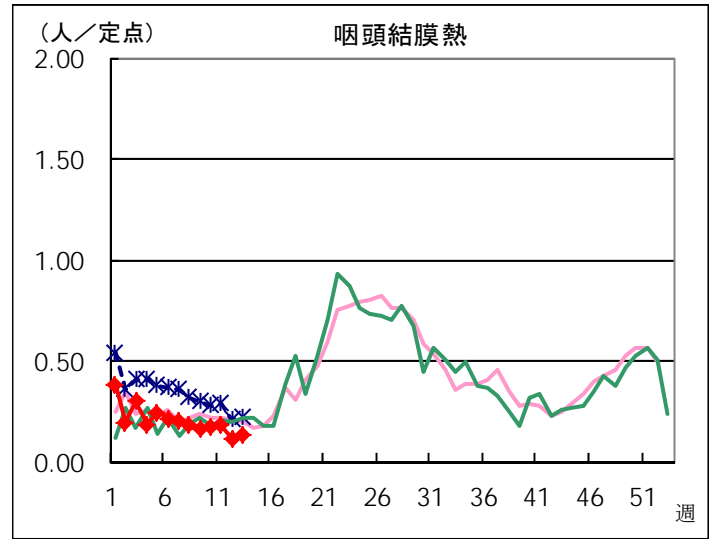
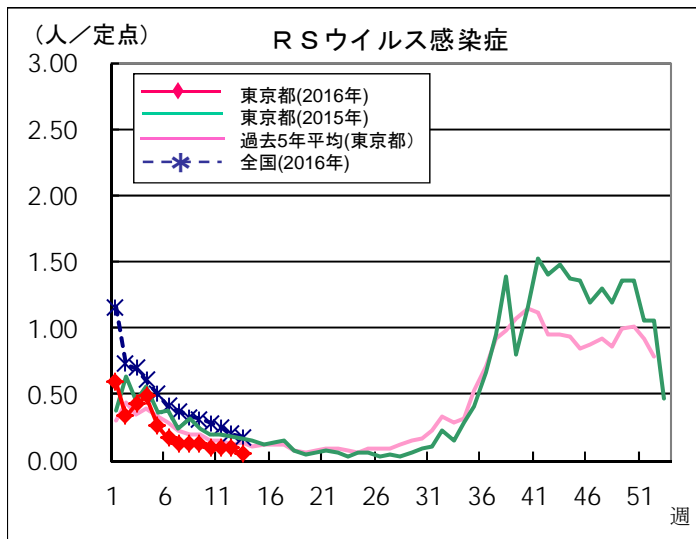
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年13週

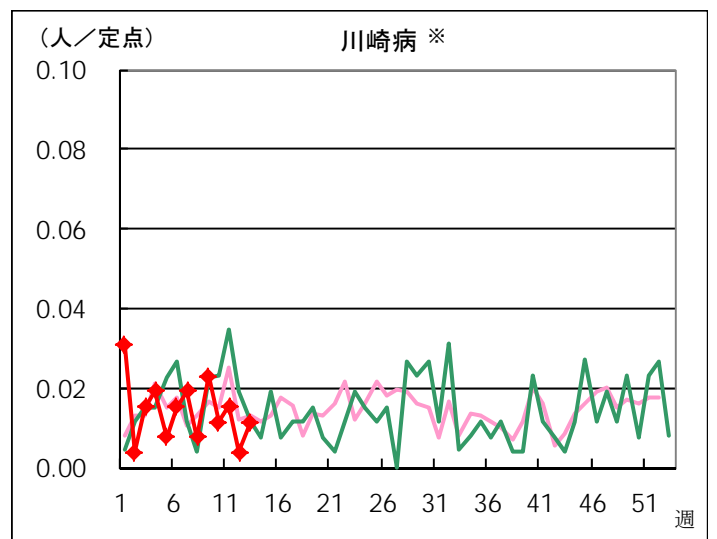
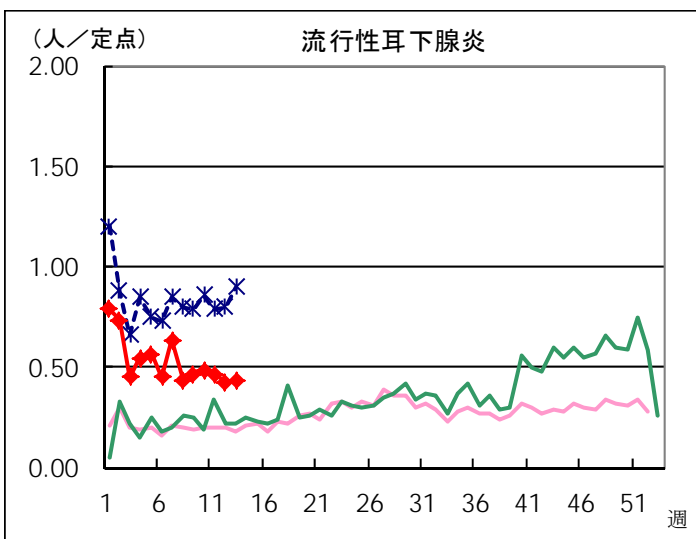
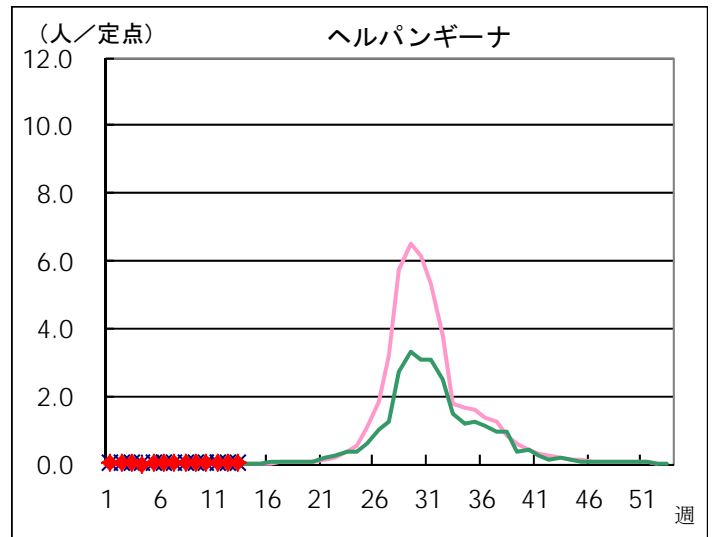
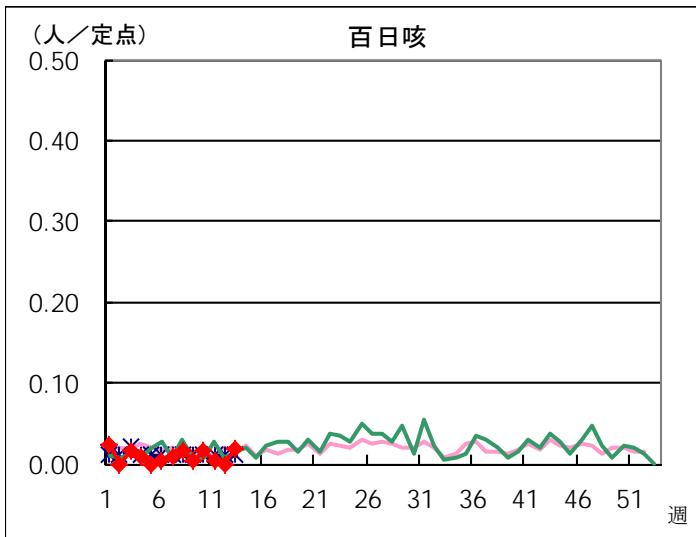
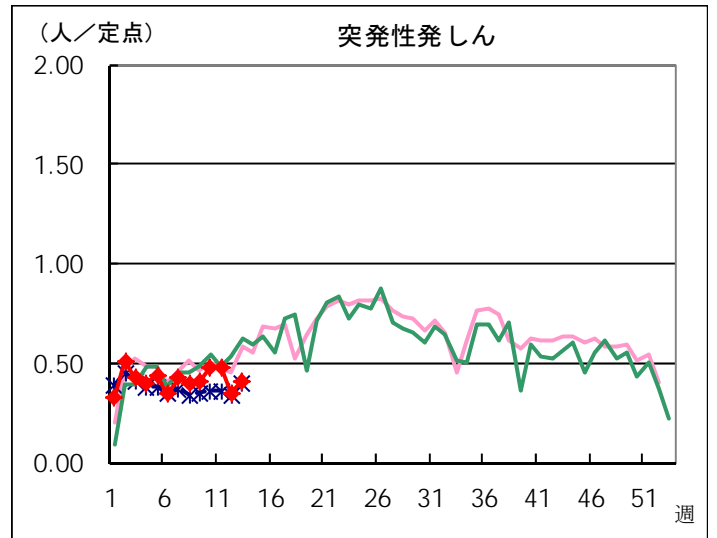
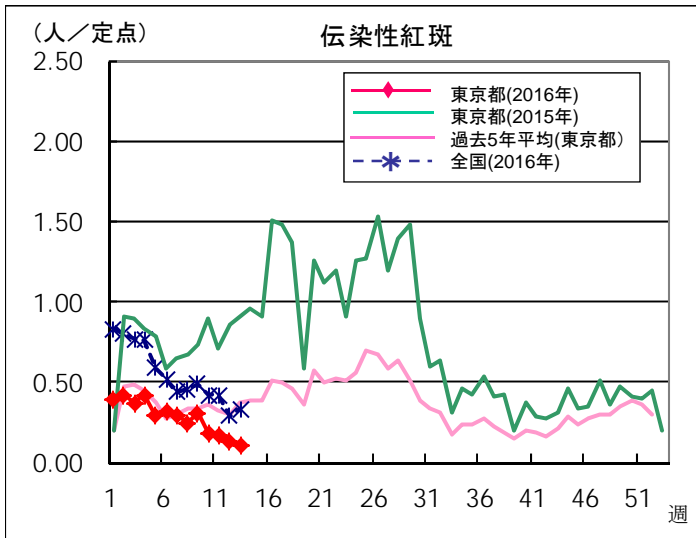
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			2		2						1
中央区	1		3	19	1		1				
みなと	1	3	8	27	7			2			1
新宿区		2	15	24				1			1
文京		1	5	15	1			2			1
台東			5	17			4	3			
墨田区			4	13	2			1			1
江東区	1	1	11	100			2	4			6
品川区	1		12	40	2			2			6
目黒区	1		15	29	1			2			
大田区	1	8	36	68	5		4	3			4
世田谷		2	42	91	4		1	6			
渋谷区			3	20							
中野区			19	58				5			
杉並		2	15	31	3		2	2			
池袋			1	12							1
北区	1	1	3	22		1		3			2
荒川区		2	12	14	1			4			2
板橋区			12	16	9			11			4
練馬区		2	23	77	6			7			3
足立	1	1	33	60	3		1	9			8
葛飾区			21	41	1		3		1		9
江戸川		5	35	63	4		4	6			
八王子市	3	3	24	87	4	1	1	5			14
町田市		1	32	59	7	2					2
西多摩			3	37	1			2			2
南多摩	1		13	50	7		1	2	1	1	
多摩立川			28	62	2			5			2
多摩府中			17	118	11	1	2	14	3		23
多摩小平	1		45	59	8	1	3	6			19
島しょ			9								
東京都合計	13	34	506	1,329	92	6	29	107	5	1	112

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			22			1		1			
中央区			46								
みなと		1	58								1
新宿区			56								
文京			45		3						1
台東			34								
墨田区			39								1
江東区			123								
品川区			29								
目黒区			33								
大田区		2	130		1						
世田谷		5	197					1			
渋谷区			31								1
中野区			84								
杉並	2	1	98								
池袋			38								
北区			74		1						
荒川区			115								
板橋区		2	50		2						1
練馬区	1		119								
足立			158		2						
葛飾区			104		1			5		1	1
江戸川			108		1						
八王子市			241					1			
町田市		1	139								
西多摩			98								
南多摩			100								
多摩立川		1	142								
多摩府中		1	319		2			2			1
多摩小平		1	251		1						1
島しょ			6								
東京都合計	3	15	3,087		14	1		10		1	8

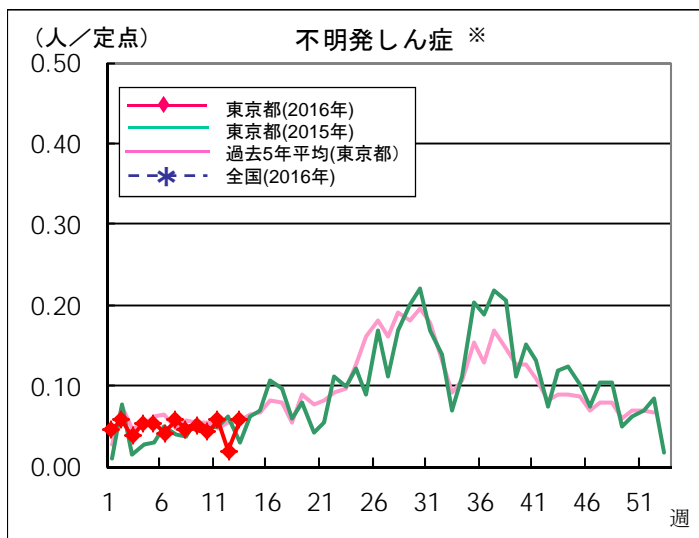
# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2016年13週 現在)

## ◆ 小児科定点



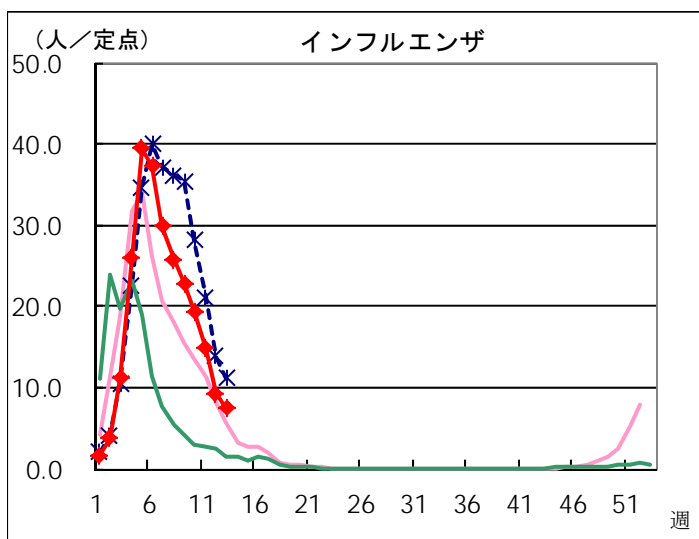


※ 東京都独自対象疾患

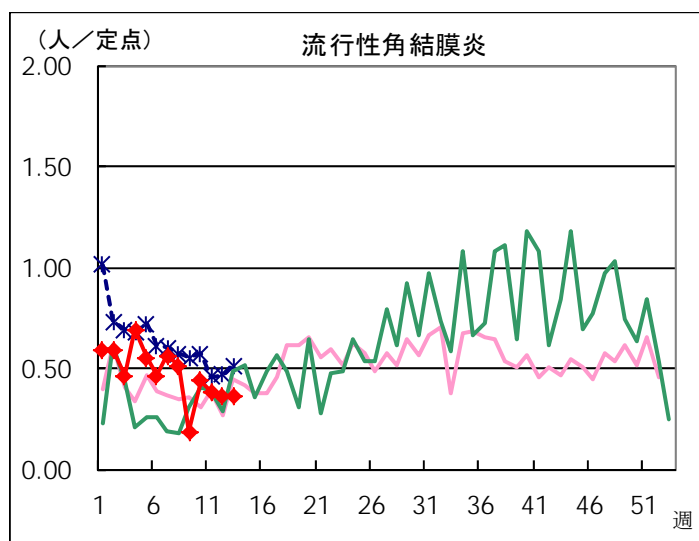
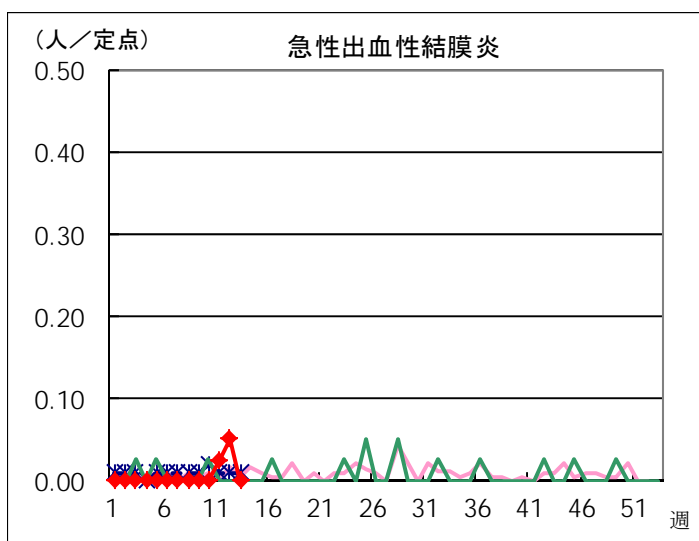


※ 東京都独自対象疾患

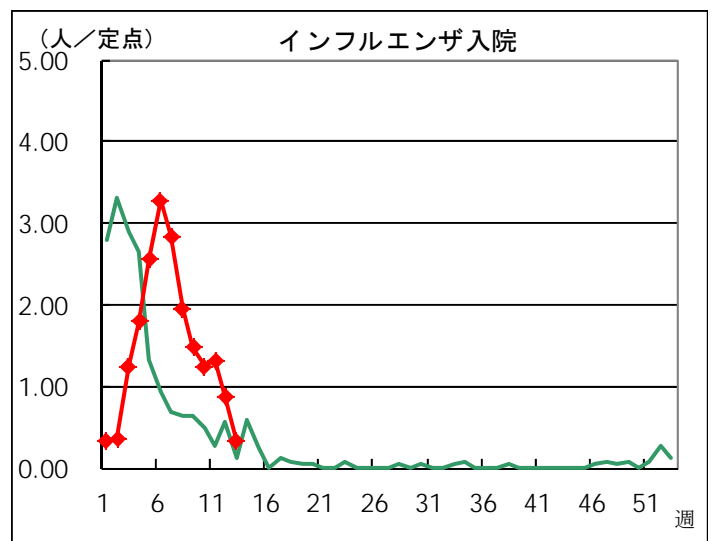
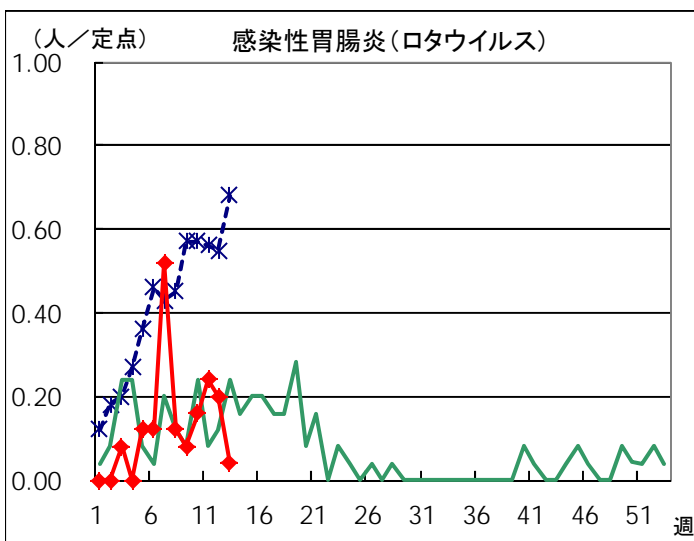
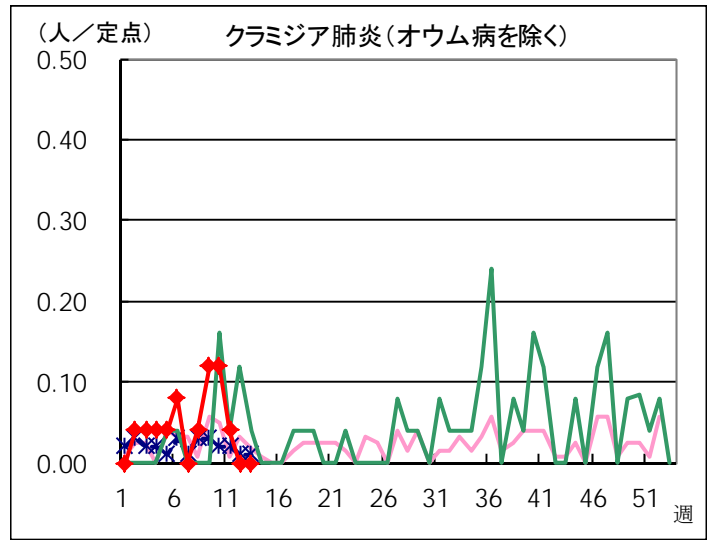
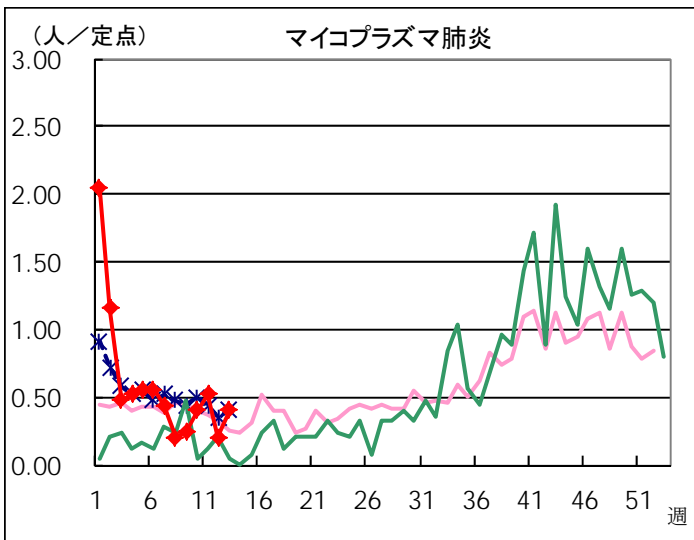
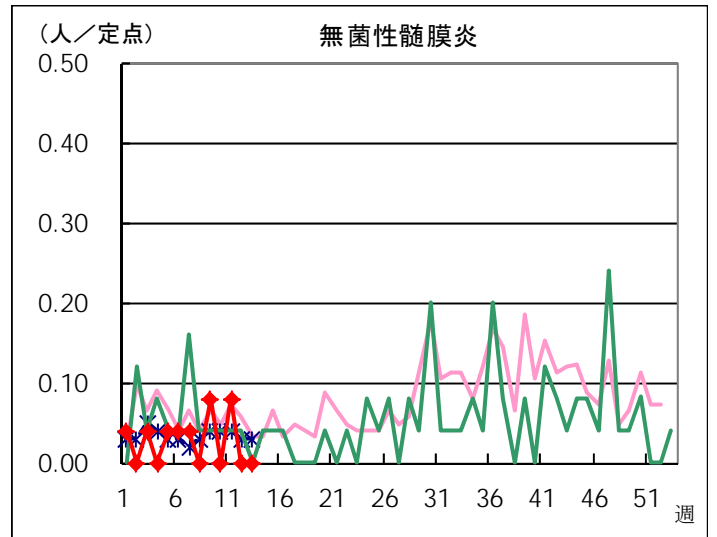
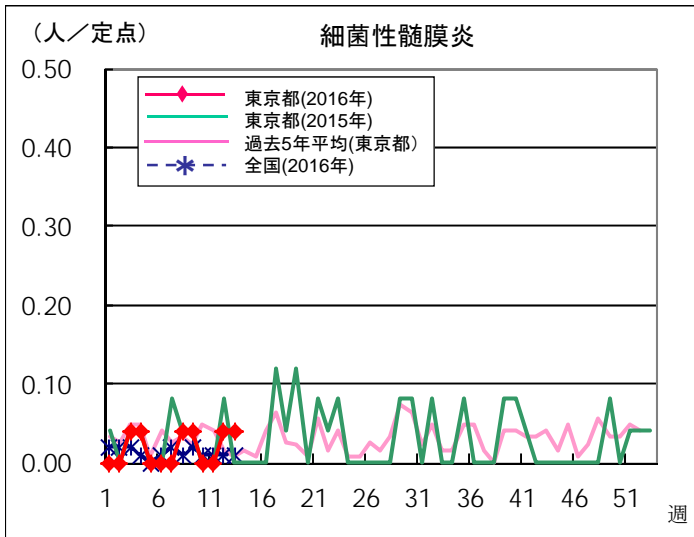
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
3/4	流行性耳下腺炎	1	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
3/3	伝染性紅斑	3	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
3/8	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
2/29	感染性胃腸炎	9	糞便	アデノウイルス 31型 ノロウイルスG II
3/10	不明発しん症	35	咽頭拭い液	風しんウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年11週	1			6
2015-2016年 シーズン累計*	142		24	100

\* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

## 病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2016年							
	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週
アデノウイルス				2				1
ライノウイルス	3	3	1	1		1		
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス							1	
単純ヘルペスウイルス	1							
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1		1	2		1	
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	1	2	2	1	1		1	2
麻疹ウイルス								
風疹ウイルス								1
ヒトパルボウイルスB19				1				1
RSウイルス								
ノロウイルス	1		3					1
ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型		2	4		1		1	
インフルエンザウイルスB型	6	11	14	10	13	11	19	6
インフルエンザウイルスAH1pdm09	23	43	10	10	5	5	11	1
デングウイルス								
その他のウイルス				1				
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年4週～2016年11週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	229	8	12	21	17		5			2	16	12				9
アデノウイルス				2			1									
ライノウイルス	6	2	1													
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群																
コクサッキーウイルスB群																
エコーウイルス																
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス	1															
単純ヘルペスウイルス																1
水痘・帯状疱疹ウイルス																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1										4					
EBウイルス																
サイトメガロウイルス																
ムンプスウイルス												9				1
麻疹ウイルス																
風しんウイルス											1					
ヒトパルボウイルスB19										2						
RSウイルス																
ノロウイルス				5												
ロタウイルス																
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	8															
インフルエンザウイルスB型	89		1													
インフルエンザウイルスAH1pdm09	106	1	1													
デングウイルス																
その他のウイルス				1												
その他の病原体																